

TTP-243 プラス/243E プラス/ 342 プラス

熱転写／感熱バーコードプリンタ

取扱説明書

目次

1.	製品概要.....	1
1.1	遵守規制	1
2.	使い始める	2
2.1	箱の中身を確認する	2
2.2	設備のチェックリスト	2
2.3	プリンタの部品名	2
2.4	外付けラベルロールマウント	6
2.5	ボタンとランプ	7
3.	設定.....	8
3.1	プリンタを設定する	8
3.2	ラベルとタグを取り付ける	8
3.3	自動剥離機能	11
3.4	リボンの取り付け方法	14
3.5	外付けラベルロールマウントの取り付け	17
3.6	メモリモジュールの取り付け(オプション)	18
3.7	自己診断	19
3.8	ダンプモード	21
4.	TTP-243 プラス/243E プラス/ 342 プラスを使用する.....	22
4.1	電源投入ユーティリティ	22
4.1.1	自己診断ユーティリティ	22
4.1.2	ギャップセンサー補正ユーティリティ	22
4.1.3	プリンタの初期化.....	23
4.2	トラブルシューティングガイド	24

1. 製品概要

TSC Auto ID Technology Co., Ltd.の TTP-243 プラス/243E プラス/342 プラス・バーコードプリンタをお買い上げいただきありがとうございます。このデスクトッププリンタは、優れた性能を、経済的な価格でお届けしています。パワフルで使いやすいこのプリンタは、デスクトップ型の感熱方式及び熱転写方式のラベルプリンタの中でも、ベストチョイスです。

このプリンタは、熱転写方式と感熱方式の両方の印字を行い、TTP-243/243E プラスでは毎秒1.5インチ、2.0インチ、3.0インチ、TTP-342 プラスでは毎秒1.0インチ、1.5インチ、2.0インチの速度からお選びいただけます。熱転写方式の印字でも感熱方式の印字でも、ロールフィード、ダイカット、ファンフォールドラベル、タグなど、幅広いメディアに対応します。ほぼすべての一般的なバーコード形式がご利用いただけます。フォントとバーコードは、4つの方向どちらにも印字できます。このプリンタは、5つの異なるサイズの英数字フォントを提供します。フォント・マルチプレケーションを利用して、より幅広いフォントサイズをご利用いただけます。使いやすい Windows ラベル・デザイン・ソフトから、スムーズなフォントをダウンロードすることができます。さらに、このプリンタは、計算、ロジカル・オペレーション、ループ、フローコントロール、ファイル管理など、BASIC プログラミング機能を単独で実行することができます。このプログラミング能力によって、ラベル印刷の効率を最大限にすることができます。プリンタのステータスとエラーメッセージは、RS-232接続によって、印刷またはモニター表示を行うことができます。

1.1 遵守規制

CE, FCC, TÜV-GS, BSMI, CCC

2. 使い始める

2.1 箱の中身を確認する

このプリンタは、配送時に損傷を受けないよう、特別な梱包が行なわれています。しかし、想定外の損傷が発生する可能性がありますので、バーコードプリンタをお受け取りの際には、梱包とデバイスの状態をご確認ください。明らかに損傷を受けている場合は、運送会社に、損傷の状態と程度をご連絡ください。プリンタを返送いただく場合に備え、梱包材は大切に保管してください。

2.2 設備のチェックリスト

- バーコードプリンタユニット × 1
- 無地のラベルストックのサンプルロール(243E プリンタには入っていません) × 1
- セミレジンリボンのサンプル(243E プリンタには入っていません) × 1
- リボン巻き取り軸用ペーパーコア × 1
- リボン供給／巻き取り軸 × 2
- 丸ラベル供給ロール軸 × 1
- ラベル軸 × 1(固定タブ × 2 付き)
- 外付けラベルロールマウント／軸(243E プリンタには入っていません) × 1
- 電源 × 1
- 電源コード × 1
- セントロニクス・インターフェース・ケーブル(243E プリンタには入っていません) × 1
- クイックインストールガイド × 1
- Windows ラベルソフト/Windows ドライバ CD ディスク × 1

別売りの備品が入っている場合もあります。これらの備品には、次のものがあります。

- ラベル
- リボン
- メモリモジュール
- カッター(243E プリンタには入っていません)
- ポータブル液晶キーボード

入っていない部品があった場合、お買い上げいただいた販売店または代理店の顧客サービス部門までご連絡ください。

2.3 プリンタの部品名

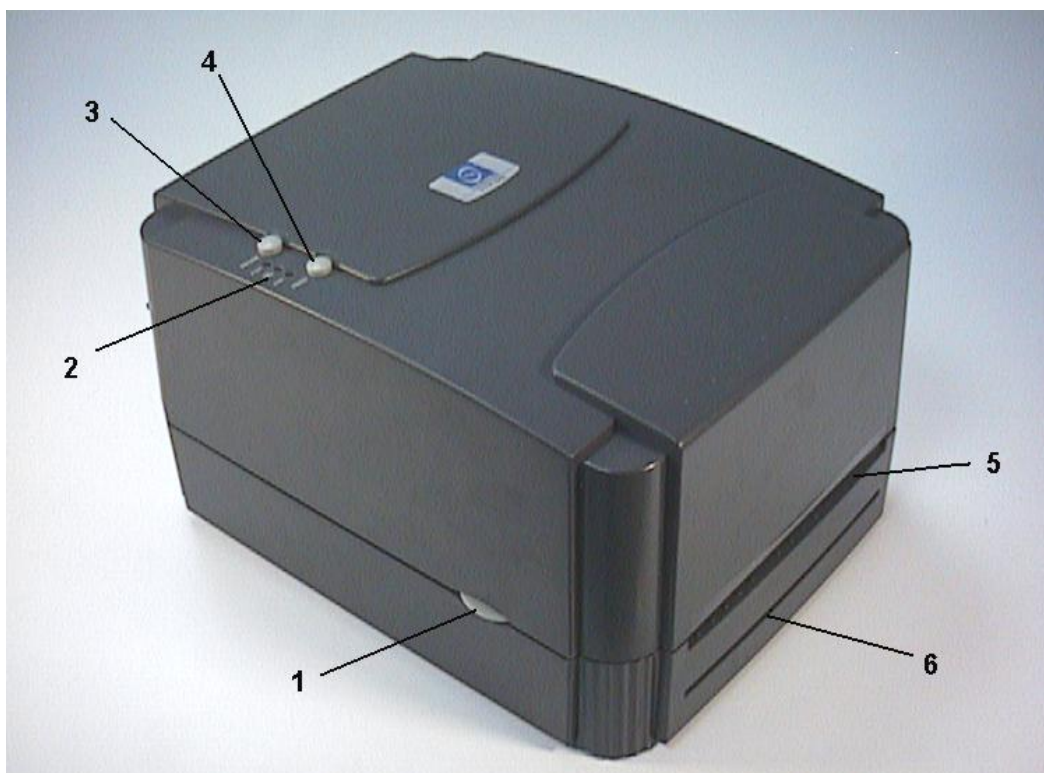


図1 正面

1. カバーリリースボタン
2. PWR./ON-LINE/ERR.ランプ
3. PAUSE ボタン
4. FEED ボタン
5. ラベル取り出し口
6. 台紙口(自動剥離機能を使用する場合)

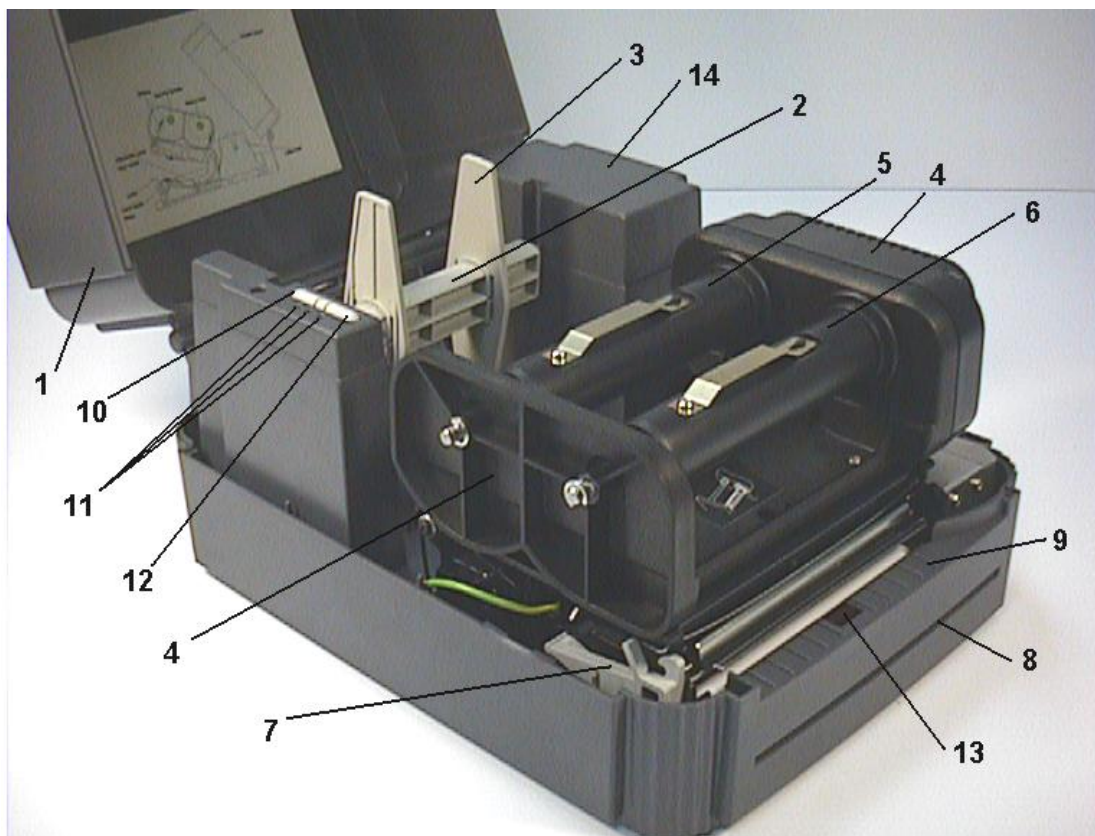


図2 内部

1. プリンタカバー（開いた状態）
2. ラベル供給ロール軸
3. 固定タブ
4. リボン機構
5. リボン供給軸
6. リボン巻き取り軸
7. プリンタキャリッジリリースレバー
8. 台紙口
9. 取り外し可能なフロンパネル
10. PAUSE ボタン
11. PWR／ON-LINE／ERR.ランプ
12. FEED ボタン
13. ピールオフセンサー
14. メモリモジュールスロット（カバーつき）

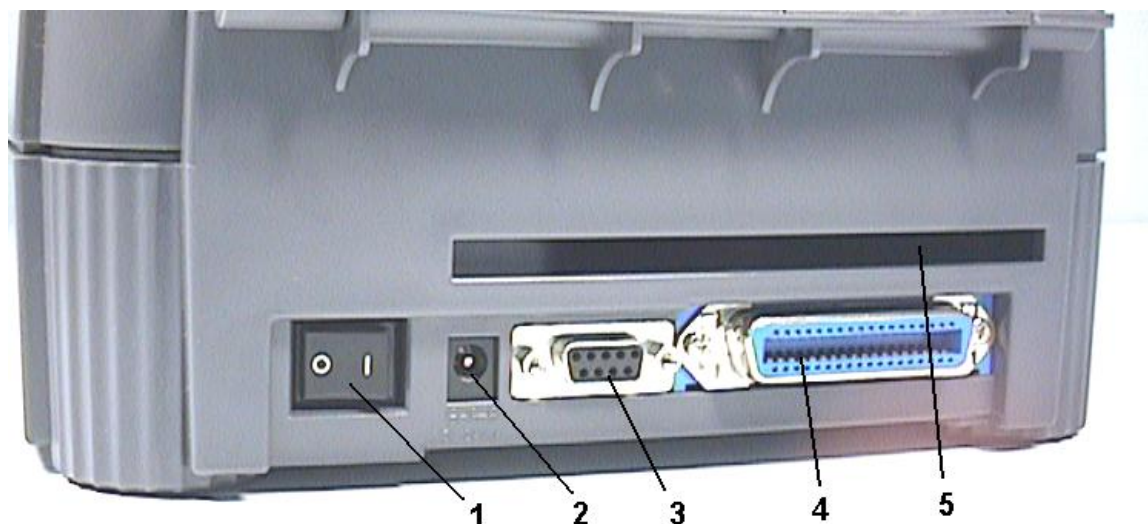


図3 背面

1. 電源オン／オフスイッチ
2. 電源コネクタ
3. RS-232C DB-9 インターフェース・コネクタ
4. セントロニクス・インターフェース・コネクタ
5. ラベル挿入口（外付けラベルを使用する場合）

2.4 外付けラベルロールマウント



図4 外付けラベルロールマウント

2.5 ボタンとランプ

PWR.(電源)ランプ

POWER スイッチが入っていると、緑の PWR. ランプが光ります。

ON-LINE ランプ

プリンタが印字可能な状態になると、緑の ON-LINE. ランプが光ります。PAUSE ボタンが押された状態では、ON-LINE ランプが点滅します。

ERR.ランプ(エラー／紙補充)

メモリエラー、構文エラーなど、プリンタにエラーが発生すると、赤い ERR. ランプが光ります。エラーメッセージの一覧については、4.2章のトラブルシューティングガイドをご参照ください。

PAUSE ボタン

PAUSE ボタンを押すと、印字ジョブを停止することができ、もう1度押すと、印字を再開することができます。PAUSE ボタンを押すと、次のことが行われます。(1) ラベル印字後にプリンタが停止する。(2) PAUSE の LED が点滅する。(3) プリンタがすべてのデータをメモリに保存する。これによって、ラベルストックや熱転写リボンを、問題なく交換することが可能になります。PAUSE ボタンをもう1度押すと、プリンタの動作が再開します。

注: PAUSE ボタンを3秒以上押し続けると、プリンタがリセットされ、それまでの印字ジョブのすべてのデータが失われます。

FEED ボタン

次のラベルを開始するためにラベルをフィードするには、FEED ボタンを押します。

3. 設定

3.1 プリンタを設定する

1. プリンタを平坦で安定した場所に置く。
2. **POWER** スイッチがオフになっていることを確認する。
3. プリンタを、同梱の RS-232C またはセントロニクス・ケーブルで、コンピュータ・メインフレームに接続する。
4. プリンタ背面の電源コネクタに電源コードを差し込んでから、適切な接地が行なわれたコンセントに、電源コードを差し込む。

3.2 ラベルとタグを取り付ける

1. プリンタのカバーを開ける。
2. プラテンの左側のプリンタキャリッジリリースレバーを引いて、プリンタキャリッジを取り外す。
3. ラベル供給ロール軸を、ラベルロールのコアに通し、固定タブで軸を押さえる。
4. ラベルロールをラベルロールマウントに置く。ラベルをキャリッジの下に通し、プラテンの上に入れる。
5. メディアの幅に合わせ、ラベルガイドを調整する。
6. プリンタキャリッジを取り付ける。
7. ラベルロールをぴんと張るまで巻き取る。
8. プリンタのカバーを閉じ、緑の **ON-LINE** ランプが光るまで、**FEED** ボタンを 3～4 回押す。
9. プリンタでリボンまたはメディアがなくなると、**ON-LINE** の LED が消え、**ERR.** の LED が点滅する。プリンタの電源を切らずに、リボンまたはメディアを取り付ける。**ON-LINE** の LED が光るまで、**FEED** ボタンを 3～4 回押す。データが失われることなく、印字ジョブが再開される。

注: ラベル、リボンを取り付けた後、電源を入れる前に、印字ヘッド機構を閉じてください。電源を入れる際に、リボンが取り付けられているかどうかをプリンタが検出し、熱転写モードで印字するか感熱モードで印字するかを決定します。

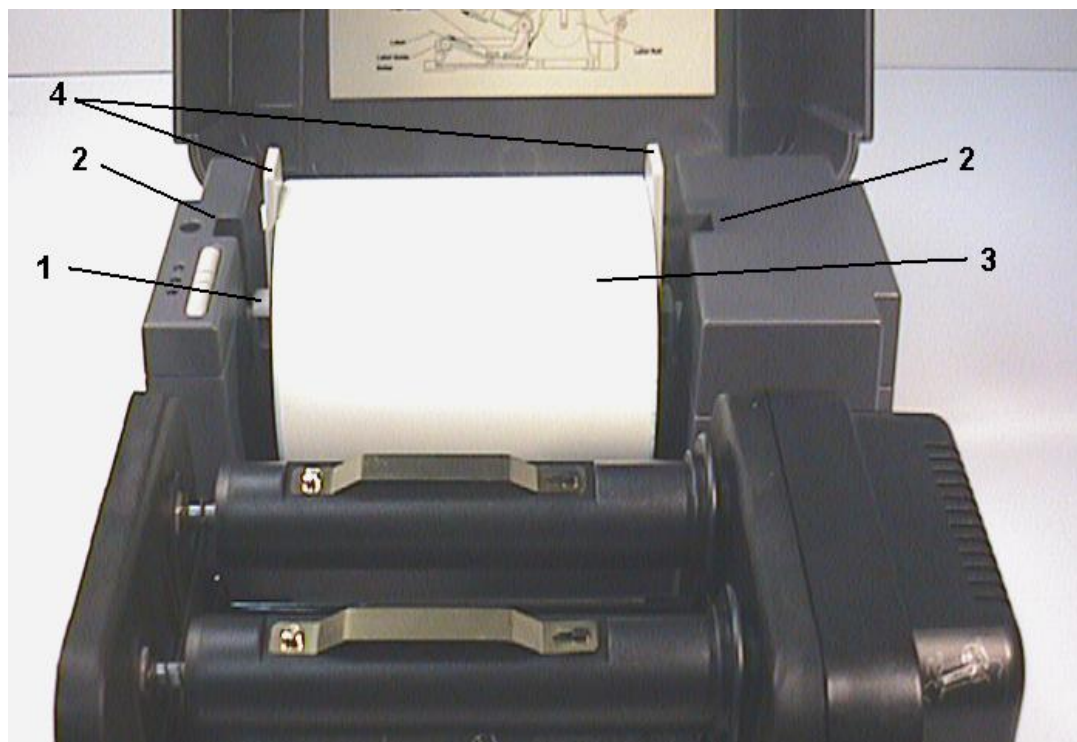


図5 ラベル供給ロールのラベルロールマウントへの挿入

1. ラベル供給ロール軸
2. ラベルロールマウント
3. ラベルロール
4. 固定タブ

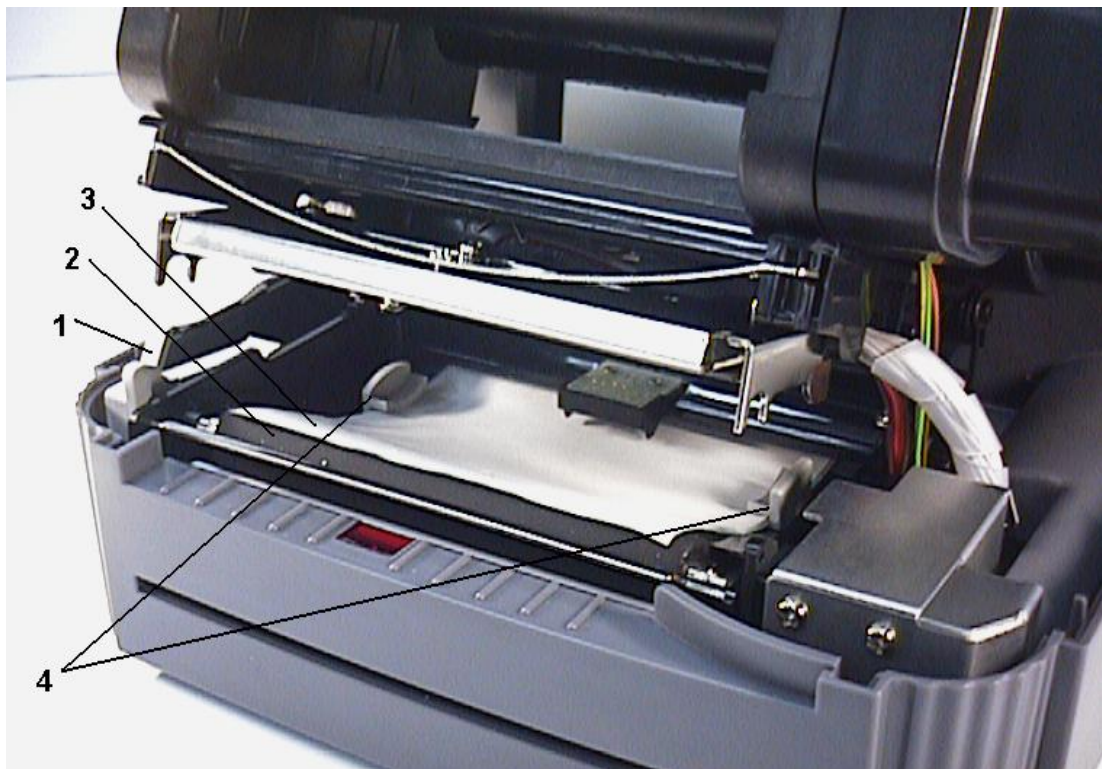


図6 調整可能なラベルガイドへのラベルのフィード

1. プリンタキャリッジリリースレバー
2. プラテン
3. ラベルメディア
4. 調整可能なラベルガイド

3.3 自動剥離機能

自動剥離機能を使用するには、次の手順でラベルを取り付けます。

1. フロントパネルを取り外す。
2. ケースにぴったり合うように、最初の 1～2 枚のラベルを破り取る。図7のように、プラテンと白い「自動剥離」ローラーの間に台紙を入れる。
3. 図 8 のように、フロントパネルの台紙口から台紙を入れる。
4. フロントパネルを戻す。

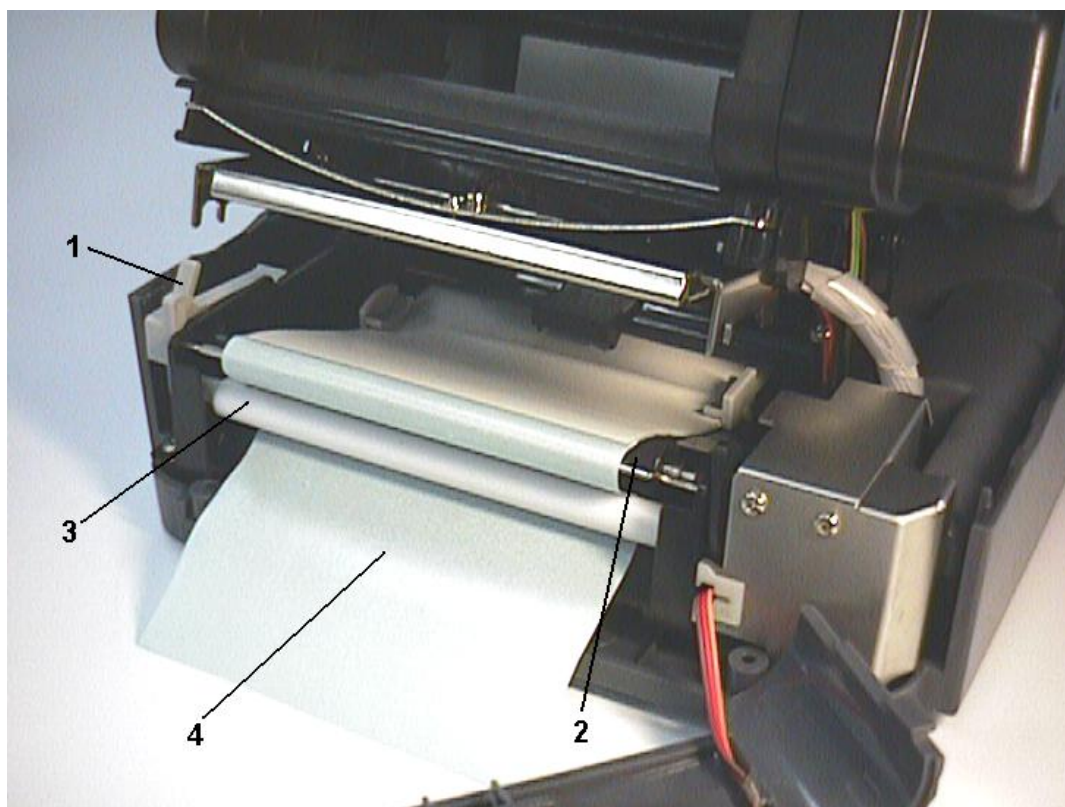


図7 自動剥離機能のためのプリンタの設定

1. プリンタキャリッジリリースレバー
2. プラテン
3. 自動剥離ローラー
4. 台紙

注:

プリンタで自動剥離機能を使用する場合、印字速度を毎秒 2 インチ (TTP-342 プラスは 1.5 インチ) に設定することを推奨します。

243E プリンタではピールオフ機能を使用できません。

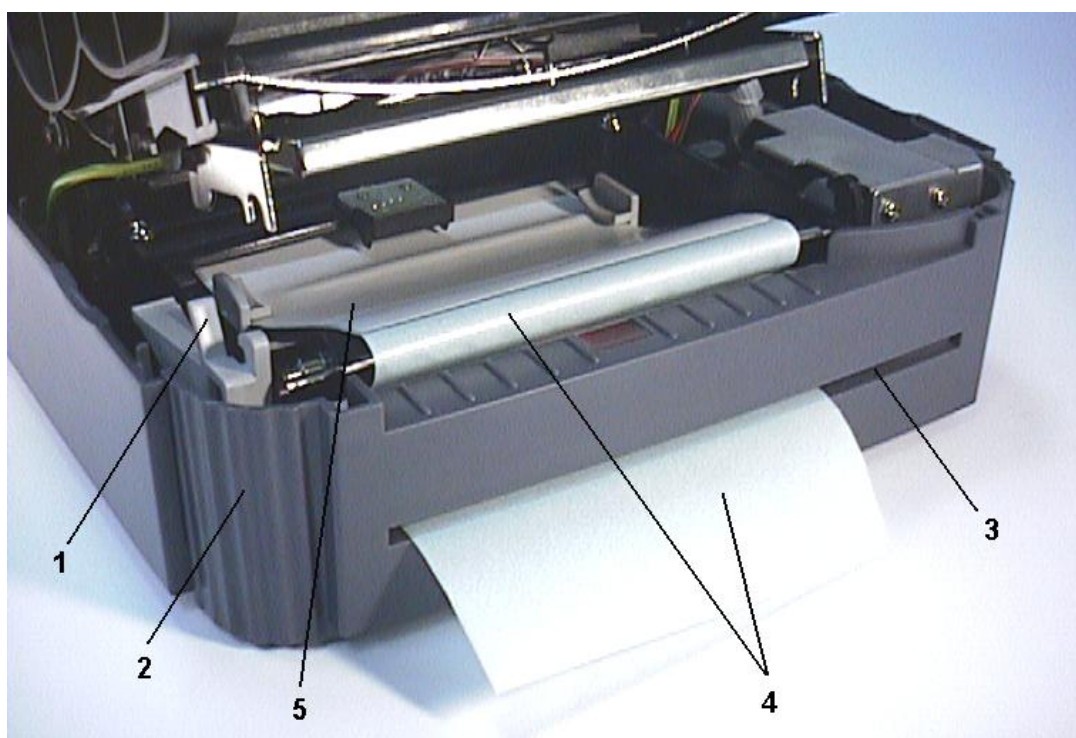


図8 自動剥離機能の設定完了

1. プリンタキャリッジリリースレバー
2. プリンタのフロンパネル
3. 台紙口
4. 台紙
5. ラベル

注: 243E プリンタには、自動剥離デバイスが搭載されていません。

3.4 リボンの取り付け方法

1. 空のペーパーコアをリボン巻き取り軸に置く。
2. リボンをリボン供給軸に取り付ける。
3. プリンタキャリッジを取り外す。
4. リボンリーダーをプリンタキャリッジの下からフロントパネルに引く。リボンリーダーをリボン巻き取りペーパーコアに取り付ける。
5. リボンリーダーがリボンの黒い部分で完全にしっかりと巻かれるようになるまで、リボン巻き取りローラーを回す。
6. プリンタキャリッジを取り付ける。
7. プリンタのカバーを閉じ、緑の ON-LINE の LED が光るまで、FEED ボタンを押す。

注: リボンとメディアを取り付けた後、電源を入れる前に、印字ヘッド機構を閉じてください。
電源を入れる間に、感熱モードか熱転写モードかを、プリンタが自動的に決定します。



図9 リボン供給ロールの設置

1. プリンタキャリッジリリースレバー
2. リボン供給軸
3. リボン巻き取り軸
4. 熱転写リボン

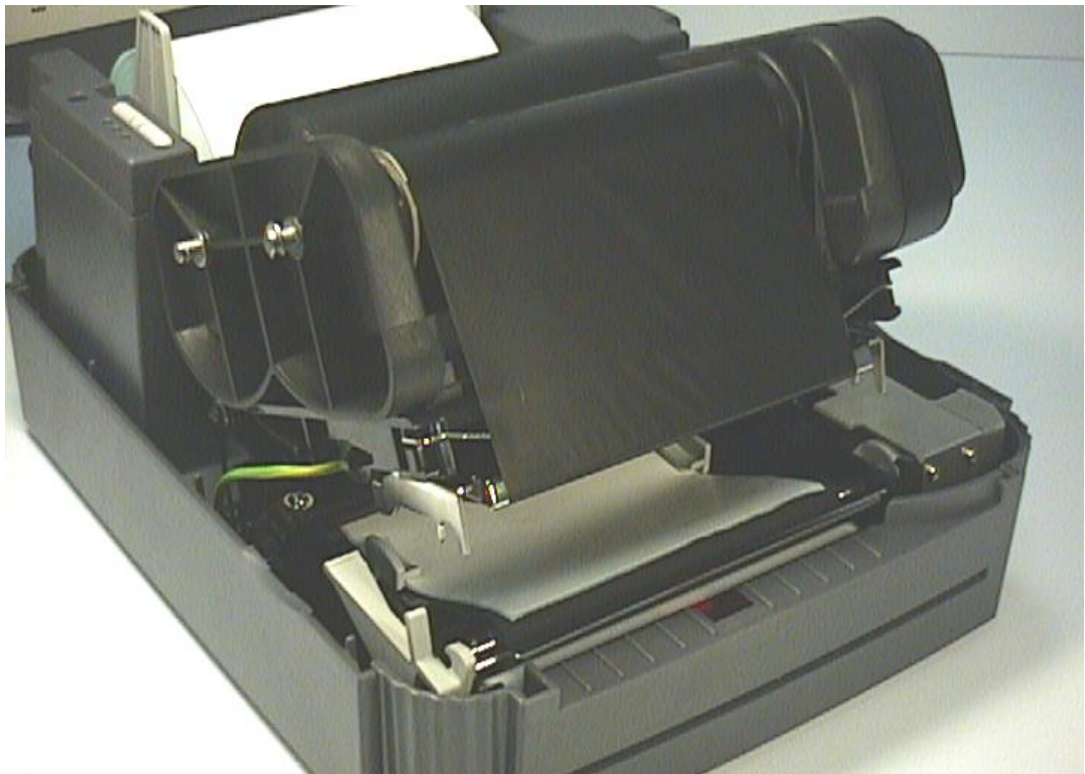


図10 ラベルストックと熱転写リボンの取り付け

3.5 外付けラベルロールマウントの取り付け

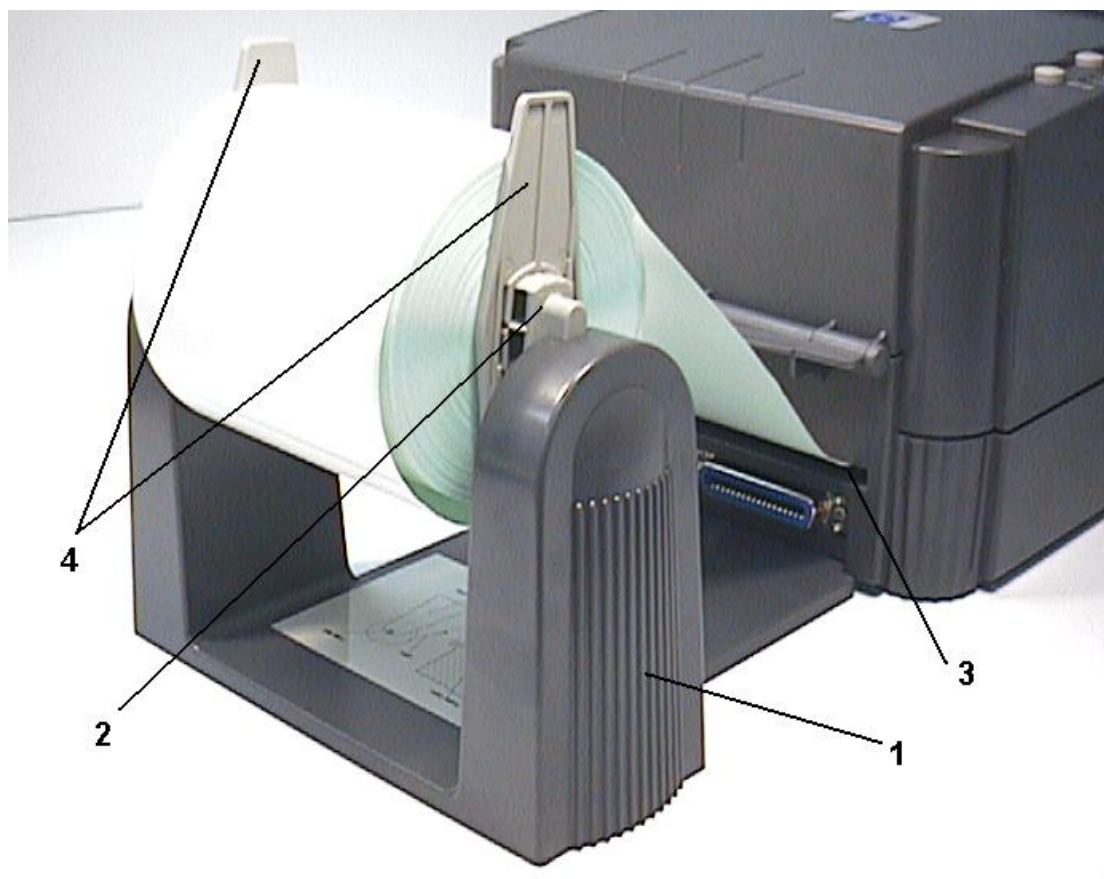


図11 外付けラベルロールマウントの取り付け

1. 外付けラベルロールマウント
2. ラベル供給ロール軸
3. 外付けラベルフィード口
4. 固定タブ

3.6 メモリモジュールの取り付け(オプション)

1. プリンタの電源を切る。
2. カバーを取り外す。
3. メモリモジュールを差し込む。
4. カバーを戻す。
5. 電源を入れる。

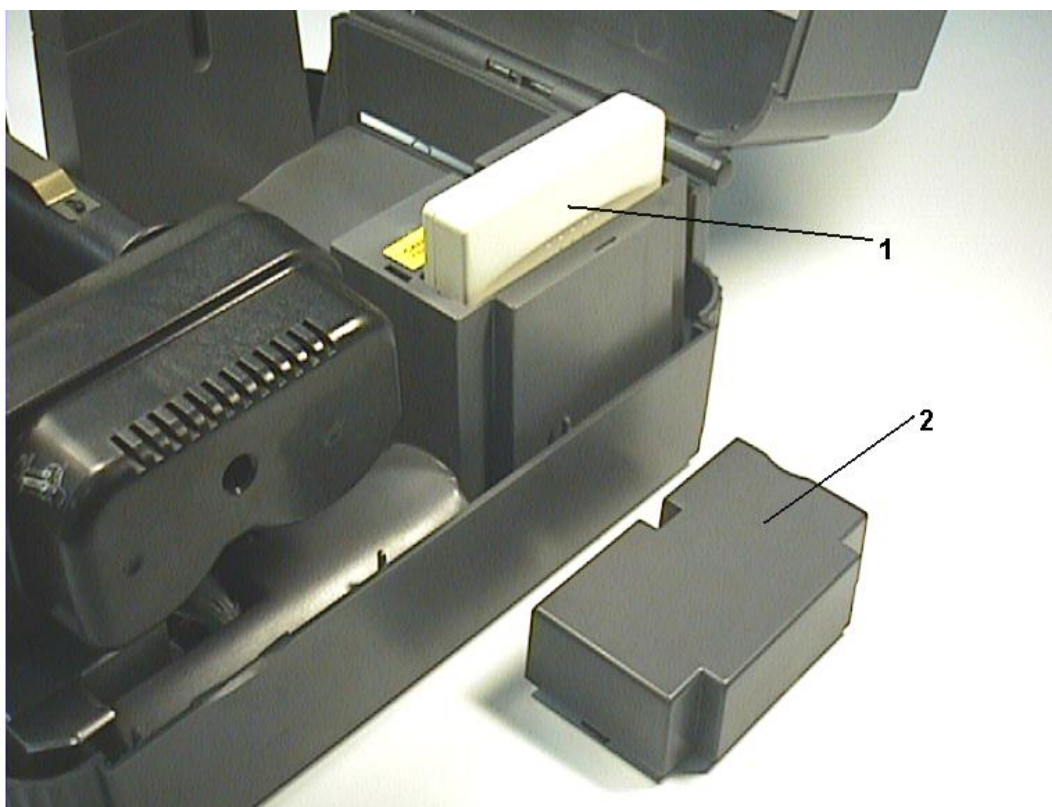


図12 メモリモジュールの取り付け(オプション)

1. メモリモジュール
2. カバー

3.7 自己診断

自己診断モードにするには、プリンタの電源を入れながら **FEED** ボタンを押します。プリンタがラベルの長さを補正します。7インチ以内でラベル間のギャップが検出されない場合、プリンタがラベルのフィードを停止し、メディアは連続紙として扱われます。自己診断では、チェックパターンを使用して、熱転写ヘッドの性能を確認します。チェックパターンに続き、次の内部設定値をプリンタが印刷します。

1. プリンタの機種とファームウェアバージョン
2. 使用量(E シリーズではこの項目は印刷されません)
3. フラッシュ回数(E シリーズではこの項目は印刷されません)
4. チェックサム
5. シリアルポートの設定
6. コードページの設定
7. 国コードの設定
8. 印字速度の設定
9. 印字濃度の設定
10. ラベルサイズの設定
11. ギャップ(Bline)幅とオフセットの設定
12. 台紙の透明度
13. ファイル一覧
14. 利用可能なメモリ

自己診断が完了すると、プリンタがダンプモードに入ります。通常の印字を再開するには、電源を切って入れ直してください。

PRINTER INFO.

TTP243P Version: 1.01
MILAGE(Km): 0.0499
CHECKSUM: 02E2F1C0
SERIAL PORT: 9600,N,8,1
CODE PAGE: 437
COUNTRY CODE: 001
SPEED: 2 INCH
DENSITY: 12
SIZE: 4.10 , 3.97
GAP: 0.24 , 0.00
TRANSPARENCE: 137

FILE LIST:

DRAM FILE:	0	FILE(S)
FLASH FILE:	0	FILE(S)
TOTAL FLASH:	1024	KBYTES
AVAIL FLASH:	1024	KBYTES
TOTAL DRAM:	256	KBYTES
AVAIL DRAM:	256	KBYTES

END OF FILE LIST:

注:

内蔵の物理的なフラッシュメモリと DRAM は、それぞれ 2MB です。システムのファームウェアが 1MB を占めるため、ダウンロードに使用可能なフラッシュメモリの容量は、全部で 1024 K バイトです。

システムのファームウェアが 1MB を占めるため、ダウンロードに使用可能なフラッシュメモリの容量は、全部で 256 K バイトです。

3.8 ダンプモード

自己診断の後、プリンタはダンプモードに入ります。このモードでは、ホストコンピュータから送られるすべての文字が、次のように2行に印刷されます。受信した文字が最初の行に表示され、対応する16進数の値が次の行に表示されます。これは、ユーザがプログラミングのコマンドの検証や、プリンタのプログラムのデバッグを行う際に役立ちます。プリンタをリセットするには、POWERスイッチを切って入れ直してください。

```
*****
NOW IN DUMP MODE

DOWNLOAD "DE 44 4F 57 4E 4C 4F 41 44 20 22 44 45
MO2.BAS" SI 4D 4F 32 2E 42 41 53 22 0D 0A 53 49
ZE 4.00,5.00 5A 45 20 34 2E 30 30 2C 35 2E 30 30
CLS SPEED 0D 0A 43 4C 53 0D 0A 53 50 45 45 44
1.5 DENSIT 20 31 2E 35 0D 0A 44 45 4E 53 49 54
Y 10 DIRECT 59 20 31 30 0D 0A 44 49 52 45 43 54
ION 0 SET C 49 4F 4E 20 30 0D 0A 53 45 54 20 43
UTTER OFF S 55 54 54 45 52 20 4F 46 46 0D 0A 53
ET DEBUG LAB 45 54 20 44 45 42 55 47 20 4C 41 42
EL REFERENC 45 4C 0D 0A 52 45 46 45 52 45 4E 43
E 0,0 A=100 45 20 30 2C 30 0D 0A 41 3D 31 30 30
0 Y=100 FO 30 0D 0A 59 3D 31 30 30 0D 0A 46 4F
R I=1 TO 3 52 20 49 3D 31 20 54 4F 20 33 0D 0A
BARCODE 100, 42 41 52 43 4F 44 45 20 31 30 30 2C
Y,"39",96,1, 59 2C 22 33 39 22 2C 39 36 2C 31 2C
0,2,4,STR$(A 30 2C 32 2C 34 2C 53 54 52 24 28 41
) A=A+1 Y= 29 0D 0A 41 3D 41 2B 31 0D 0A 59 3D
Y+150 NEXT 59 2B 31 35 30 0D 0A 4E 45 58 54 0D
PRINT 1 EO 0A 50 52 49 4E 54 20 31 0D 0A 45 4F
P DEMO2 50 0D 0A 44 45 4D 4F 32 0D 0A
```

4. TTP-243 プラス/243E プラス/ 342 プラスを使用する

4.1 電源投入ユーティリティ

プリンタのハードウェアの設定とテストを行う電源投入ユーティリティは3つあります。これらのユーティリティは、FEED または PAUSE ボタンを押しながらプリンタの電源を入れると、有効になります。ユーティリティは次のとおりです。

1. 自己診断
2. ギャップセンサーの補正
3. プリンタの初期化

4.1.1 自己診断ユーティリティ

最初にラベルを取り付けます。FEED ボタンを押してから、プリンタの電源を入れてください。プリンタがラベルをフィードするまで、FEED ボタンを押したままにしてください。プリンタが次の項目を実行します。

1. ラベルのピッチを補正する
2. 熱転写ヘッドのチェックパターンを印刷する
3. 内部設定を印刷する
4. ダンプモードに入る

自己診断とダンプモードの詳細については、3.7章の「自己診断」と3.8章の「ダンプモード」を参照してください。

4.1.2 ギャップセンサー補正ユーティリティ

このユーティリティは、ギャップセンサーの感度を補正するのに用いられます。ユーザは、次の2つの場合に、ギャップセンサーを補正する必要があります。

1. メディアを新しいタイプに変更した場合。
2. プリンタを初期化した場合。

注: ギャップセンサーが正しく補正されていないと、ERRのLEDが点滅することがあります。

次の手順でギャップセンサーを補正してください。

1. プリンタの電源を切り、無地のラベル(ロゴや文字がない)をプリンタに取り付ける。
2. PAUSE ボタンを押しながら、プリンタの電源を入れる。
3. プリンタがラベルをフィードしたら、PAUSE ボタンから手を放す。プリンタが停止し、2つの緑のLEDランプが点灯するまで、プリンタの電源を切らない。

注: ブラックマークセンサーは、感度が固定されています。ブラックマークセンサーの補正の必要はありません。

4.1.3 プリンタの初期化

プリンタを初期化すると、ダウンロードされ、フラッシュメモリに残されたすべてのファイルが消去され、プリンタのパラメータが初期設定値に戻ります。

パラメータ	初期設定値
使用量	自動
フラッシュ回数*	自動
チェックサム	自動
シリアルポート	96,N,8,1
コードページ	437(8ビット)、米国(7ビット)
国コード	001
速度	2.0インチ/秒
濃度	09
サイズ	4, 2.5"
ギャップ(BLINE)	0.12, 0
透明度	05,05,05

次の手順でプリンタを初期化してください。

1. プリンタの電源を切る。
2. PAUSE と FEED ボタンを押しながら、プリンタの電源を入れる。
3. つの LED が点滅を始めるまで、ボタンを押したままにしてください。

注 1: 電源を入れると、印字方法(熱転写方式または感熱方式)が自動的に設定されません。

注 2: プリンタの初期化が完了したら、ギャップセンサーをもう1度補正してください。

注 3: プリンタを初期化すると、ダウンロードされたファイルが削除されます。

4.2 トラブルシューティングガイド

次のガイド一覧は、バーコードプリンタを操作中に起こる可能性のある最も一般的なトラブルの一部です。ここに記載された解決方法でもプリンタが機能しない場合は、お買い上げいただいた販売店または代理店の顧客サービス部門までご連絡ください。

トラブル	解決方法
リボンが進まない、または巻き取られない	メディアとリボンを取り付け、プリンタの電源を入れる前に、印字ヘッド機構を閉じる。
印字品質がよくない	熱転写ヘッドを清掃する。 印字濃度の設定を調整する。 リボンとメディアに互換性がない。 メディアの厚さが仕様以上である。
電源ランプが光らない	電源コードが正しく接続されているかどうか確認する。 電源の LED が点灯しているかどうか確認する。 点灯していない場合、電源が故障している。
ON-LINE ランプが消え、ERR. ランプが点く	紙切れ、またはリボン切れ ギャップセンサーの感度を補正する。 リボン巻き取りペーパーコアが取り付けられていない。
ラベル印字時にフィードされ続ける	ギャップセンサーを補正する。



TSC Auto ID Technology Co., Ltd.

Corporate Headquarters

9F., No.95, Minquan Rd., Xindian Dist.,
New Taipei City 23141, Taiwan (R.O.C.)

TEL: +886-2-2218-6789

FAX: +886-2-2218-5678

Web site: www.tscprinters.com

E-mail: printer_sales@tscprinters.com
tech_support@tscprinters.com

Li Ze Plant

No.35, Sec. 2, Ligong 1st Rd., Wujie Township,
Yilan County 26841, Taiwan (R.O.C.)

TEL: +886-3-990-6677

FAX: +886-3-990-5577